

『学習効果を高める新聞のよさを生かす学習活動』

都城市立富吉小学校

教諭 玉木 克憲

1 学校としての取組

- 毎日、3年生以上の学級（4学級）に新聞を置き、児童がいつでも見られるようにした。
- 「新聞タイム」（月に1～2回朝の活動）を実施した。
- 全学級において新聞を活用した授業の実践をした。

2 実践事例

（1）新聞タイムでの取組

本校では昨年度から月1～2回、朝の時間に各学級において新聞に慣れ親しむための活動を設定している。本年度は、新聞タイムでの具体的な活動例として下記の取組をしてきた。

- 新聞を読んで、気になる写真を切り貼りして紹介する活動（下学年）
- 新聞を読んで、気になる記事を見付け、自分の意見や感想を書き、スピーチする活動（上学年）
- 新聞の中から、同じ部首の漢字やカタカナ等の目的に応じた文字、言葉探しをする活動
- 新聞記事をモデルにして、新聞記事の書き方（見出し、小見出し、写真や表等の役割）を学び、自分で新聞を作成する活動

【実践例1：第4学年の取組】

1 ねらい

- 新聞に多くのジャンルの記事があることを知り、社会の出来事について自分の意見や感想を発表することができるようにする。

2 学習の流れ

（1）記事の選定をする。

- 政治・経済・スポーツなど多くのジャンルの記事から自分の興味・関心のある記事を選定するように指導した。選定した記事は、ワークシートに張っておくようにした。

（2）記事の内容を理解する。

- 分からない言葉が出てきたら自分で辞書を使い内容を理解できるように指導した。

（3）記事についての意見・感想を書く。

- 記事を読んで気付いたこと・考えたこと・感じたことなど書く観点を挙げ、それをもとに記事を貼ったワークシートに自分の意見や感想を書くように指導した。

（4）1分間スピーチをする。（全員が実施）

- 前時に書いた自分の意見や感想を基にみんなの前で記事の内容を説明し、自分の記事に対する意見や感想を述べさせた。その後、聞き手の児童に記事についての感想や質問を行わせた。



【記事をもってスピーチする児童】

(2) 授業での取組

本年度は国語と学級活動において新聞を活用した授業実践を行った。

学級活動では、新聞記事から見聞を広げ、興味関心を高めながら、多様な情報が記載された新聞のよさを生かした学習活動を展開した。

国語では、新聞に書かれている文字や言葉の豊富さ、文章表現の手法等を生かした学習活動を展開した。

【実践例2：第1学年の取組】

1 教科・領域

- 学級活動「サッカー ワールドカップについて調べよう」

2 ねらい

- サッカー ワールドカップの記事から、世界の国や人に関心をもたせる。

3 学習の流れ

(1) 学習のめあてをつかむ。

サッカーワールドカップについて調べよう。

(2) サッカーワールドカップについて知っていることを話し合う。

(3) 新聞から、サッカーワールドカップについて、書かれている記事を見付け、線を引く。

(4) 記事を切り抜いて、台紙に貼り、記事にある写真を見て、感想を書く。

(5) 感想を発表する。

(6) 本時の学習をまとめる。



【気に入った写真等を切り取る児童】



【完成したカード】

- かっこいい。 ○がんばったね。 ○選手は、かっこいいな。 ○すごいな。足が長いな。
- サッカーがんばってください。 ○(喜んでいる選手を見て)よかったね。
- (悲しんでいる選手を見て)かなしいね。 ○日本の人は、がんばっているね。

【実践例3：第5学年の取組】

1 第5学年 国語「新聞記事を読み比べよう」

2 学習のねらい

- 新聞記事を要約する活動をととして、文章の内容を的確にとらえる力を付けるとともに、新聞に興味をもち、内容を紹介することができる。

3 学習の流れ

(1) 学習のめあてをつかむ。

- 新聞を要約する力をつけ、それを友だちに紹介しよう。

(2) 新聞の要約原稿を作成する。

- ① 新聞記事に目をとおし、自分を取り上げる記事を選ぶ。
- ② 要点と思われる部分に朱線を引く。
- ③ 切り抜いた記事をワークシートに貼り、線を引いた部分を抜き出し、要約して記入する。
- ④ 新聞記事についての感想や意見を記入する。

(3) スピーチの練習をする。

- ① 伝わりにくい表現はないか確認するとともに、一人で読む練習を行う。
- ② 早く終わった友だちとペアになり、スピーチの練習をし、アドバイスを伝え合う。

(4) 朝の会において輪番制でスピーチを行う。

4 成果と課題

- 4月当初は子ども新聞（週一回発行：ルビあり）を選ぶ児童がほとんどであったが、新聞を読むことに慣れてきたことと、一般紙の方が日々のニュースを取り上げた内容が豊富にあるということで、2学期以降は一般紙を選ぶ児童の方が多くなった。



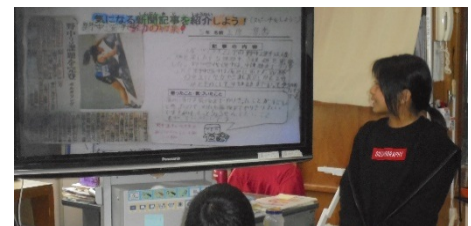
【一般紙から新聞記事を選ぶ児童】

- 人前で表現することに抵抗感がある児童が多いという実態をふまえ、全体の前でスピーチを行う前に一人やペアで練習する時間を設定した。新聞記事のリード文を活用したり、アドバイスを伝え合ったりすることで、自分に自信をもってスピーチすることができた。



【ペアでアドバイスをし合う児童】

- スピーチをすることに精一杯で、聞き手の反応を捉えようとしたり、より聞き手が興味を持つ内容を紹介しようとする児童が少なかった。相手意識をもち、聞き手の関心が高まるような記事を選択できるよう、今後も支援していきたい。



【全体の前でスピーチを行う児童】

3 実践後の変化、実践の感想、今後の課題

(1) 児童の変容

- 新聞への興味・関心が高まり、休み時間等に児童同士で新聞を開いて記事について話をする児童が増えたり、他教科の学習内容を新聞記事で見付け、更に理解を深めたりした。
- 新聞タイムで、新聞紙を読むことを楽しみにしている児童が増え、互いに見つけ合った気になる新聞記事について生き生きと語り合う姿が見られるようになった。
- 新聞のよさ（社会の様々な出来事、効果的な文章の書き方、資料の活用の工夫、様々な言葉、文字を知ることができる等）を児童なりに理解できるようになり、そのよさを学習活動に生かすことができる児童が増えた。
- 低学年は漢字や片仮名が読めず、記事を読むのは難しかったが、児童は興味をもって記事を探すことができた。写真や見出しから、日本や世界の人々の活躍や喜び・悲しみなどを感じ、感想を述べることができ、世界の国や人に関心をもたせることができた。
- 6年生の学習では、実際に投書する文章を書く場面で、書き手の工夫を参考にしながら自分の考えを表現している児童が増えた。

(2) N I Eに関する児童の感想

- 新聞を読んでいたら、いろいろなところの取組、スポーツなどについてくわしく知ることができ、新聞にも少し興味をもてました。これからも新聞を読んでいきたいです。
- 新聞は種類によって書き方がちがうのが分かりました。いろいろな情報を知ることができてとても勉強になりました。
- 新聞をとおしてテレビで知ることができないことを詳しく知ることができたのでよかったです。文章を書く力も付き、要点をまとめることもできるようになりました。

(3) 実践教諭の感想

- 各教科・領域の年間指導計画に沿って学習指導計画を立てる際、国語が最も新聞の活用がしやすかった。新聞の内容が難しい低学年においては、内容よりも文字や言葉の豊富さに着目させる学習活動を展開することが効果的であった。

中・高学年においては、「調べたこと」や「伝えたいこと」を効果的にまとめ、伝える手法を新聞を模範にして学ぶ学習活動が効果的であった。

- 学級活動や新聞タイムは、活動内容に幅をもたせることができるので、新聞の活用を中心にしても無理のない学習活動を展開できた。新聞に載っている写真等に目を向けさせると低学年でも記事に興味をもつことができ、切り抜いたり、感想を書いたり、さらにスピーチ活動等に発展させたりすることもできた。

(4) 課題

- もっと幅広く様々な教科・領域の学習指導に新聞を活用させたいが、そのためには教諭自身が新聞記事に目をおし、日頃から学習のねらいに沿ったものをストックしておくことが必要である。
- 新聞のよさを全職員で整理したり、そのよさを担当学年の年間指導計画に沿った学習計画に効果的に生かす手立てを考えたりすることを、年度当初に職員研修等に位置付けるとよい。
- 教諭自身が新聞を読む時間を確保し、学習効果を期待できる記事等をストックする機会を定期的に設けるとよい。